

さんむのふるさと散歩

NO.46



【好評につき先着20人にCDプレゼント】

～なるなみコーラス ふるさとを歌う～

広報さんむ6月号で紹介した「なるなみコーラス」さんが歌うCDを再度いただきました。先着20人の方に差し上げますので、欲しい方は7月11日(月)以降、市民自治支援課(成東保健福祉センター1階)までおいで下さい。

市民自治支援課市民広報係 ☎(80)0152

平成23年度企画展示左千夫『春の潮』展を7月23日(土)から11月6日(日)まで実施します。

『春の潮』は『隣の嫁』の続編としてホトトギス(明治41年4月)に掲載されました。

『春の潮』の説明の前に『隣の嫁』(ホトトギス明治41年1月掲載)のあらすじをお話します。

主人公の省作が隣の家に嫁いできたおとよと恋仲になり、それがうわさとなつたために、省作は深田へ婿養子に行き家を出て、おとよも離縁



浪切不動尊

して隣の家を出て実家に戻ると言うストーリーです。

『春の潮』はそんな二人の恋愛の顛末を表記したもので、省作とおとよが成東く雄蛇ヶ池へ行く道程を春の風景と景観(浪切不動尊・妙宣寺・八鶴湖・雄蛇ヶ池)を表現した作品です。



妙宣寺

伊藤左千夫自身は明治14(1881)年に政治家を志して上京し、明治法律学校(現在の明治大学)に入学するが、眼病のため9月に退学、成東に戻り、実家で静養し、家の手伝いをして暮らしていた経験があり、悲痛な日々を過ごしていました。

この頃の経験を『隣の嫁』『春の潮』の中に表記したのと思います。

『春の潮』の文中に「省作が永く眼を煩った時などには、母は不動尊に塩物断ち(神仏の祈願のためある期間塩ものをたつ)の心願まで：…前述のとおり左千夫も眼病を患っていたことから、省作は左千夫なのかもしれませんね。

今回の企画展では省作・おとよが歩んだ道程のゆかりの場所や文化財・桜の風景を展示いたします。(展示期間は夏から秋です)



八鶴湖

資料館内企画展示
く左千夫『春の潮』展く

『隣の嫁』の続編『春の潮』は山武市・東金市の名所が随所に盛り込まれています。左千夫が見た風土を再現。

期 間 7月23日(土)～11月6日(日)
場 所 歴史民俗資料館 ☎(82)2842

古文書講座
日 時 7月21日(木) 午後2時～4時
場 所 成東文化会館のぎくプラザ第1会議室
問 歴史民俗資料館 ☎(82)2842